

あらかわ 青少年委員会より

第118号

平成24年3月10日

荒川区青少年委員連絡会

荒川区教育委員会事務局

社会教育課

登録(23)0031-02号

CHANGE & CHALLENGE

～変革と挑戦～

荒川区青少年委員連絡会ホームページ

<http://www.arakawa-seishonen.jp/>



平成23年度「成人の日のつどい」 1月9日(月・祝) サンパール荒川にて



荒川区青少年委員連絡会
会長 中條 勉

1期2年の任期が、もう終わろうとしています。

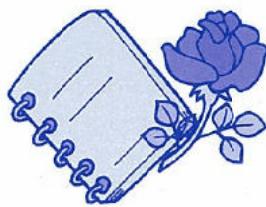
自分は3期目なのですが、この時期になると、もうすぐ終わるという安堵感と、次から次へと忙しく追いかけてくる活動の中で、ほっとしたひと時に、「自分に何ができるのだろう」「やり過ぎすことなく、やりこなせていたのだろうか」という想いに浸りながら酒を飲むことが多くなります。

でも、いつも思うのです。人類の長い歴史の中に自分たちの名前なんか残らないけど、先輩方から引き継いだもの、そして自分たちが伝えるもの、時代によつて正統は変わっていくけれども、夜な夜なたくさんの大人たちが集まり、子どもたちのために真剣に話し合い考え出したことは、必ずや後輩たちに継承され、永遠に残り、続いていくものだと。そして子どもたちを育て、やがて子どもたちは豊かな未来を作つていく。そう思うと、同時に気持ちよくいびきを「ガーガー」かきながら眠つてしまします。余談ですが、かの「レディーガガ」は子どものこと、まわりと同じことができないじめられたが、やがて、まわりができるようになります。現在の富と名声を手にしたそうです。

このことも胸に、今後も青少年委員活動に励んでいきたいと思います。

5期10年を迎えた4人の委員に質問しました

平成24年2月19日(日)に東京都青少年委員大会において東京都青少年委員会連合会表彰を受けられました。



●質問内容●

- ① 10年間で思い出に残る出来事を1つ挙げてください。
- ② 10年間活動を続けた感想を一言でお願いします。
- ③ 今、10年を迎えて先輩たちにかけたいと思う言葉は?
- ④ 今、10年を迎えて後輩たちにかけたいと思う言葉は?
- ⑤ 活動を始めたころから10年で自分が変わったと思うこと。
- ⑥ ご自身の10年間の活動を四字熟語で表すと?
- ⑦ 感動的だった出来事(研修中)
- ⑧ 感動的だった出来事(実践部会中)
- ⑨ 10年間活動を続けたことで一番よかったと思うこと。
- ⑩ 今、戻るとしたらどの期に戻りたいですか?
- ⑪ 今までの活動の中で、もう一度やりたいと思うことは何ですか?
- ⑫ 最後に、自由にメッセージをお願いします。

10年間のハイライト

1期	2期	3期	4期	5期
<ul style="list-style-type: none">・6期12年へ・城北ブロック研修会担当区・青少年委員だより第100号発行・青少年委員制度50周年記念・東京都青少年委員制度50周年記念	<ul style="list-style-type: none">・ホームページ本格更新開始	<ul style="list-style-type: none">・城北ブロック研修会担当区	<ul style="list-style-type: none">・青少年委員だより別冊「彩」創刊・ホームページリニューアル・スタッフブログ開設	<ul style="list-style-type: none">・第20回「荒川区一輪車大会」・東日本大震災発生・城北ブロック研修会担当区

山崎 委員

- ① いっぱいありすぎて…あえて1つ挙げれば「一輪車大会」です。伝令の仕事が、とにかく走って、走っての繰り返してつらかったことが思い出です。
- ② 続けられると思ってませんでしたが、いろんな仲間ができたことです。
- ③ 先輩たちの活動の歴史を受け継がせてもらい光栄です。
- ④ いつも明るく楽しい活動を心がけてください。(子どもたちの笑顔のため)
※地味で縁の下の力持のような活動ですが!!!
- ⑤ 人前で話すことが、はずかしくなくなりました。(消極的だったもので)
- ⑥ 喜怒哀楽
- ⑦ 宿泊研修の夜の交流会(飲み会)にもかかわらず、覚えた芸を披露したり、スタンツをやったり、眠りにつくまで研修を続けたことに感動しました。
- ⑧ なんと言っても「チャレンジキャンプ」での青少年委員で行ったスタンツが子どもたちにウケたことが感動しました。
- ⑨ たくさんのすばらしい仲間(仕事関係ではない)ができたこと
- ⑩ 3期かな!?
- ⑪ 思いはやっぱり「一輪車大会」です。
- ⑫ ジャー!!



神保 委員



- ① 4期目の少年団体育成部長の時です。年末の「中高生リーダー宿泊研修」で、研修後深夜まで荒少連・社教の皆さんと、子どもたちへの思いを熱く語り合い、その年を締めくくったこと。
- ② 楽しかったこと、悲しかったこと、やり遂げたこと、悔いの残ること、成功、失敗、色々ありましたが、どれも貴重な経験でした。
- ③ 退任後も、子どもたちとの関わりは先輩方と一緒に続けていきたいと思っています。今後ともご指導よろしくお願ひ致します。
- ④ 青少年委員として「やってみたいこと」はありませんか？あったら、やろうしてください。ない人は、やってみたいことを探してください。
- ⑤ 片手傘さし自転車運転をしなくなった。白髪と老眼鏡の度数が増えた。
- ⑥ 暗中模索
- ⑦ 「城北ブロック研修会」です。「あそびが育む心と体」というテーマで、目からウロコのレク研修でした。
- ⑧ 「一輪車大会」で、私たちのミスで表彰すべき子どもが対象外となってしまい、閉会式後、スタッフで表彰式を行ったとき、その子が涙しながら、喜んでくれたこと。
- ⑨ 「さくら教室」への理解者が増え、多くの仲間が関わってくれるようになったこと。
- ⑩ 3期です。校庭及び施設利用部長として「ピロポロ大会」「一輪車大会」に奔走した最も忙しく大変な2年間でしたが、それなりの充実感がありました。
- ⑪ 40人全員で話し合うこと。
- ⑫ 私たち大人が見本を示し、きちんとした背中を見せていくことだと思います。

宮崎 委員



- ① 1期目の委嘱式。
- ② まだまだ。
- ③ やってみます、6期。
- ④ やり続けてください。継続は○○です。
- ⑤ 基本的には変わっていないと思う。強いて言えば、多少手を抜けるようになったこと。
- ⑥ 楽忙迷熱（自己製作）
- ⑦ 自主研修という研修（意味は色々深い）。
- ⑧ 子どもたちの笑顔に触れることができた。ホームページが立ち上ったこと。
- ⑨ 10年以上続けられる（た）こと。
- ⑩ もう昔には戻りたくない。今が一番良い。
- ⑪ できれば全て。
- ⑫ ここまで活動を続けることができたのは、一重に先輩方を始め皆様方のおかげだと思っています。残りの期間、許される限りやり通したいと思います。

塙田 委員



- ① 最後の宿泊研修（キャンドルファイヤーで女神を演じたこと）です。
- ② 「光陰矢の如し」です。
- ③ 感謝。
- ④ 継続。
- ⑤ 最初に比べ肩の力が抜けたこと。
- ⑥ 粒粒辛苦
- ⑦ 清里の宿泊研修で、満天の星空に天の川が見えたこと。
- ⑧ 最後のさくら教室「お楽しみ会」で担当チームが優勝したこと。
- ⑨ 大勢の人と出会えたこと。
- ⑩ ありません。どの期でも自分なりに最善を尽くしたと思うからです。
- ⑪ 日帰り研修でお台場までウォークラリーをしたこと。
- ⑫ 5期最後になって「自主研修」が日帰りになり、とても残念でなりません。自分で、それが青少年委員としての最後の研修だと思っていたからです。

平成23年度後期活動トピックス

尾久つ子ランキン

城北ブロック研修会

「青少年委員がプロデュースした出張校庭
プレーパークinひぐらし小」みんなde遊ぼう！

校庭及び施設利用部長 金子 守利

校庭及び施設利用部会

は、9月11日(日)、ひぐらし小学校校庭にて、日暮里地区の児童と、校庭利用実施委員会にたずさわるPTAを対象に「みんなde遊ぼう！」を開催しました。

この事業は、5月に開



催された「校庭利用実施委員会連絡会」の各校実施委員との意見交換で、青少年委員からの「青少年はいかがでしょうか？」という提案に対し、多くの賛同を得られたことがあります。

「プレーパーク」という

「遊びの縁日大会」を模したさまざまなコーナーには、学校の枠を越えて集まつた大勢の子どもたちの笑顔があふれ、歓声がとびかっていました。



尾久ブロック長 小熊 賢一

尾久ブロックの新たな活動として立ち上げた「尾

久つ子ランキン」も、今年度で3回目を迎えました。

中学生のお兄さん、お

姉さんたちをリーダーに、地区の小学校6校による

混合編成チームが5つの種目（ゲーム）で勝敗を競い、私たちが手作りしたメダルの獲得を目指してもらう小中合同のレクリエーションです。



今回は9月18日(日)に、尾久宮前小学校の体育館を会場として小学生40名、中学生15名が参 加し、種目の「3分間しりとり」では、あらかじめ答えが決まっている「しりとり」を、リーダーがヒントやジェスチャーで選手（小学生）から答えを導く難しさを感じたり、「ロープ引き」では、チーム同士の駆け引きなどが盛り上がりま



調査研修副部長 児玉 はるみ

子どもを取り巻く環境

の変化の中でコミュニケーション能力が貧弱になり、「友だちを作れない」「仲良くなれない」子どもが増えている

と言われている今、人間関係を深めていくことが大きな課題になっています。

その課題を踏まえ、10月

22日(土)に、ホテルラングウッドを会場にして、荒川区少年団体指導者連絡会会長である田中義久氏を講師に招き、「あそびケーションで仲間づくり」をテーマに城北ブロック研修会を行いました。



内容は、文京区、台東区、北区、荒川区の青少年委員1人ひとりが、遊びやゲームに積極的に係

わる中で、人と人とのつながりを体験しながら、自分たちの区の子どもを、どのように育てたいのかを学び合っていきたいかを学び合ってい参加型の研修で、今後の委員活動の参考となる有意義な研修会でした。



さくら教室

青年団体育成副部長 塚田 陽子

11月13日(日)に、台東区立柏葉中学校の体育館で4区(文京区、台東区、北区、荒川区)による「合同レクリエーション大会」が開催されました。

今年は「みんなで協力して絆を深め心をひとつにならう」の大会目標をもとに、4区の受講生が4チームに分かれてゲームで競ったり、応援団長を筆頭に熱氣いいっぱいの応援合戦を行つたりと、楽しい1日を過ごしました。

また、12月11日(日)には、受講生たちによる「お楽しみ会」が旧真土小学校でありました。

「合同レクリエーション大会」と同じメンバーでゲームを競い合い、青チームが「合同レクリエーション」で優勝しました。昼食は、「手をつなぐ親の会」の皆さん用意してくださったお餅をいただきました。とても美味しかったです。私たち青少年委員も「サンタからの贈り物」と題し「ジングルベル」の曲に合わせてダンスと一緒に楽しみました。



成人の日のつどい

青年団体育成部会 江口 陽子

1月9日(月)に、晴天の下、「成人の日のつどい」が、多数のご来賓をお迎えして、サンパール荒川において盛大に執り行われました。

新成人による実行委員会がスタートしたのは、残暑厳しい夏の終わりです。どう

のような「つどい」にしたいか、個々のイメージを出し合い、意見を交わしながら、企画や内容を組み立てていきました。

昨年3月11日に発生した未曾有の大災害「東日本大震災」の後に迎える「成人の日のつどい」とあって、実行委員が心の奥に持ち続けているそれぞれの思いが、「二十歳年表」や「折り鶴」「ハタチッター」「被災地への募金」などの企画となりました。

この事業に関わることで、将来を担う彼らの若いエネルギー、気持ちの清々しさに頼もしさを感じました。祝・成人！おめでとう！



百人一首たいけん会

荒川ブロック長 山崎 文基

1月22日(日)に、荒川ブロックと町屋ブロックが合同で開催した「百人一首たいけん会」は、今回で10年を迎えます。

この事業は、当初は荒川ブロックで単独に開催しており、7年目までは、あくまでも普通の競技に

近いやり方で行つていましが、競技ばかりだと初心者の子どもたちが楽しめないことに気がつきました。

そこで、3年前から町屋ブロックや第四中学校の生徒のボランティアの協力を得て、百人一首を用いた、よりゲーム性の高い遊びを考案し、初心者から上級者まで楽しめる内容にしたことで、大いに盛り上がるようになりました。

この事業に関わることで、将来を担う彼らの若いエネルギー、気持ちの清々しさに頼もしさを感じました。祝・成人！おめでとう！



平成23年度活動報告

※ホームページ更新（年4回）
※スタッフブログの通年管理

【本部】

6月4日 東京都青少年委員会連合会定期総会
（国立オリンピック記念青少年総合センター）

8月7日 あらかわ生涯スポーツフェスティバル
10月22日 城北ブロック研修会
（ホスト区として開催）

11月20日 第20回荒川リバーサイドマラソン
2月19日 東京都青少年委員大会

3月23日 退任式
（銀座プロッサム）

【総務部会】

10月22日 城北ブロック研修会
（懇親会企画・運営）

12月8日 忘年会
※毎月「連絡会通信」発行

【調査研修部会】

4月29日 川の手荒川まつり（中止）
6月25日～26日 宿泊研修会
（清里高原ロッジ・少年自然の家）

10月22日 城北ブロック研修会
（研修企画・運営）

8月19～21日 チャレンジキャンプ
（足柄ふれあいの村）

【広報部会】

9月10日 「青少年委員だより」
（第117号発行）

10月22日 城北ブロック研修会（記録）
（青少年委員だより）

3月10日 第118号発行

【校庭及び施設利用部会】

5月26日 校庭利用実施委員会連絡会
6月11日 荒川区体育協会60周年記念式典
9月11日 みんなde遊ぼう！

※あらかわ遊園見守り隊活動（不定期）

【青年団体育成部会】

4月17日 さくら教室「開講式」
5月21日 荒川区青年団体連合会総会

5月29日 さくら教室「校外学習」
（さきたま丘陵公園・さいたま水族館）

9月～12月 成人の日のつどい実行委員会
11月13日 さくら教室「校外学習」
（4区合同レクリエーション大会）

12月11日 さくら教室「お楽しみ会」
1月9日 成人の日のつどい
（台東区立柏葉中学校）

3月4日 さくら教室「閉講式」

【少年団体育成部会】

4月29日 荒川区少年団体指導者連絡会総会
5月～6月 チャレンジ共和国（全5回）

※定例会にてミニ研修を随時開催

11月27日 あらかわ子ども会大会

◎毎月 定例会（4月、8月を除く）
○各部会・各ブロック会 隨時

2年間お世話になりました。部長はじめ、先輩方に頼りましたが、これまでに頼りました。（反省）。广報部員というよりも、つい読者目線で「ホームページ」を楽しんでしました。ありがとうございました。

井上 祐一

2年間お疲れ様でした！

大根田 教順

「伝えること」の難しさ、大きさを改めて痛感した今期。私たちの思いはちゃんと伝わっているでしょうか。支えてくださった皆さんに心から感謝です。

八木 敦子

天災は忘れる間もなくやつてくる。「備えあれば憂いなし」、日頃の備えは怠らないこと。

今井 文江

渡辺 勝子

なかなか参加できませんでしたが、これからは、みなさんの活動を紙面を通して見ていただきたいと思いました。有り難うございました。

塩畑 英朋

気持ちはありません。いつもお世話をかけて申し訳ありません。広報も奥が深いので、まだ経験の無い方は一度ハマッテみてください。

宮崎 守弘

編集後記

広報部員からひとこと

歩

金子 守利

ななかなか参加できません。
早いもので、もうこの時期が来てしまいました。皆様のご協力で、ここまで来られる事ができました。HP、ブログのおもりを、これらもよろしくお願ひします。すべての皆様に感謝を込めて。「ありがとうございました！」

平井 貴穂

23年度は震災の影響で、多くの行事が中止となりました。節電や行事内容の一部変更など、私たちも初めて経験することばかりでした。大変でしたが、人々の優しさ・思いやりをたくさん感じることができました。

高本 由美子

早いもので、もうこの時期が来てしまいました。皆様のご協力で、ここまで来られる事ができました。HP、ブログのおもりを、これか